



平成26年 5月26日

学校だより 第3号
苫小牧市立苫小牧東小学校

太陽の子

ホームページURL <<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/tomahigashi-es/index.html>>

東小の教育目標

東小の子は太陽の子

- 進んで学ぶ かがやく子
- 思いやりある あたたかい子
- 心身ともに健康な 明るい子

心身共に健康な児童の育成をめざして

校長 寺田 洋子

爽やかな春風に吹かれ、学校の周辺の木々にも緑の芽が顔を出しました。教材園の土起こしを始めた学年もあり、子どもたちの活動は、この季節を待ちわびていたかのように、戸外にどんどん向けられています。元気な子どもたちを見て、どの子ども健やかに育ち、健康な毎日を過ごすことは、誰もが望むところです。

いつの時代でも「知育」「徳育」と共に「体育」が重視されてきました。また、現代の学校教育の理念である「生きる力」の育成の重要な要素の一つが「たくましく生きるための健康や体力」であることは言うまでもありません。しかし、子どもたちの健康や体力の状況を見ると、決して望ましいものではありません。社会環境や生活様式の変化は、子どもたちの健康にも影響を及ぼし、昨年実施いたしました全国体力・運動能力調査の結果などでは、子どもたちの体力水準も全体として低下していることがうかがえます。

また、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化が見られるとも言われています。各ご家庭でも、リズムある生活を保ち、毎日の朝ご飯をしっかりと食べさせる習慣のもと、子どもたちの健やかな成長と逞しい体づくりのため、お力添えをよろしく願いいたします。

いよいよ6月21日（土）は、苫小牧東小学校の運動会が予定されています。走ったり、跳んだり、力を出し合う中で心身とも逞しく成長する姿にご声援ください。子どもたちは入学および進学して約2ヶ月を経て新たな成長の芽を大きく膨らませています。一人一人の「成長の芽」を大きく大切に育てることを考えて苫東小の教育を推進していきたいと考えます。



【自転車教室で学ぶ 3年生】

「基本」とは

教育の場面で大切にしている『基本』。「基本」とは、学習はもちろんですが、それ以外に人間であれば必ず身につけなければならない最低のことです。

古い中国の書物には、「古（いにしえ）小学、人を教えるに灑掃（さいそう）、応対、身体の節、親を愛し、長を愛し、師を尊び、共に親しむ道を以てす」と書かれています。

基本の一番は灑掃《さいそう》すなわち掃除ができること。2番目は「いろいろな人と上手につきあいができること」つまり、挨拶や返事、正しい言葉遣い、心遣いや誠実な態度ができること。

そのほか、親孝行すること、お年寄りを大切にすること、先生に感謝すること、そして友達とは仲良くすること等が大切であると言っています。

身につけなければならないものとして、大人も振り返りたいものです。



